

弘前大学・青森中央学院大学 むつサテライトキャンパス（青森県むつ市）

取組概要

- 高等教育機関が存在しない当市に、高等教育機会の充実等に関する事業実施の拠点として、弘前大学・青森中央学院大学・当市が三者共同により「むつサテライトキャンパス」を設置する。
- むつサテライトキャンパスは、箱（キャンパス）をもたない、まったく新しいタイプのサテライトであり、豊かな自然に育まれた当市のフィールドすべてがキャンパスとなる。
- 講座や講義を市内公共施設で実施し、市民の皆様の教育機会の充実や両大学の滞在型学習の支援・留学生交流事業の実施、豊かな地域資源を活かした産業振興に取り組む。

取組の効果

1. 若者の流れの創出
 - 弘前大学および青森中央学院大学の学生や教員が当市をフィールドとして活動することにより、まちが若者であふれ活気や賑わいが生まれている。
 - 「若者」、「よそ者」の発想が持ち込まれ、地域の魅力や課題を発見するとともに、それらを伸ばし解決してくれることが期待される。
2. 高度な学習機会の提供
 - 市民の学びの機会が増える。
 - 地域で活躍できる人材育成につながる。

創意・工夫した点

- 大学との連携により高度な学習機会を提供
- 大学生が当市を訪れることにより、活気やにぎわいが生まれ、よそ者の視点による魅力や課題の発見、解決が期待できる。
- 豊かな自然に育まれた当市のフィールドを活かした学習を行うことによって、新たな産業や視点がうまれる。
- 地方創生につながる。

他団体へのアドバイス

- 高等教育機関の設置や誘致はハードルが高くハード整備のための費用や時間がかかる。
- むつサテライトキャンパスの取組は、ハード整備は不要であるにも関わらず、年間400名を超える若者の流れを創出し、まちに賑わいと活気をもたらすものである。

人口 61,066人（H22国調）

担当 総務政策部 総合戦略課



むつサテライトキャンパスの設置



大学生によるフィールド活動の様子



公開講座の様子